

あの日から **3年**、

復興は **新たなステージ**へ

復興計画の「復旧期」から「再生期」へ

熊本地震から3年が経過しようとしています。未曾有の大災害に絶望感を覚えながらも、お互い支え合いながら私たちは懸命に前へ進んできました。振り返ってみれば、想像もできなかったさまざまな経験や出来事が思い出され、短いようでとても長かったように感じます。

町では、復興計画に基づき、被災された方々の生活再建支援事業のほか、これまでさまざまな復旧・復興事業に取り組んできました。今年に入って、待望の災害公営住宅が一部完成し、入居が開始されました。また、益城中央線（県道熊本高森線）も着工されるなど、まちの装いもこれから加速して変化を遂げていきます。

復興計画では、平成30年度までの「復旧期」から、次の「再生期」へと移っていきます。「再生期」では、生活や産業の再開に不可欠な住宅、生活基盤施設、インフラなどの復旧を進めながらも、住民の力を基に震災前の活力を回復し、地域の価値を高めていくこととされています。

今号では、震災から4年目を迎えるにあたり、現在行っている主な復旧・復興事業の現状と今後の見通し（特記以外は3月15日現在で作成）についてお知らせします。
※新年号は、西暦で表記しています。

住宅の状況

○仮設住宅入居者の状況（2月末日現在）

18団地 1,562戸が整備された建設型仮設住宅、およびみなし仮設住宅については、住宅再建の進展と災害公営住宅の一部完成等に伴い、入居戸数が減少しています。

建設型仮設住宅

896戸（2,075人）

みなし仮設住宅

650戸（1,584人）

○災害公営住宅整備事業

事業概要等

自力での自宅再建が困難な世帯を支援するために、町内に671戸の災害公営住宅を整備します。

現在の状況

砥川第1(10戸)、畑中(10戸)、田原第2(16戸)の3団地、合計36戸については、すでに工事が完了し入居が済んでいます。その他の団地については、右表のとおりとなっています。

今後の方針

公募準備中のものは、事業者が決定次第、基本設計に入ります。いずれも2020年度中の完成を目指しています。完成した住宅から順次、入居を開始していく予定です。

災害公営住宅整備の進捗状況

団地名	戸数	現在の状況
広安西A工区	78	工事中
広安西B工区	43	工事中
広安西地区	46	基本設計中
馬水	108	工事中
安永	93	工事中
木山下辻	120	工事中
輝らめき館跡地	40	工事中
宮園第1	24	実施設計中
宮園第2	6	公募準備中
木山上辻	14	基本設計中
上陳	7	実施設計中
田中	21	実施設計中
中砥川	7	実施設計中
島田	28	実施設計中

※整備地等については、本紙1月号をご覧ください。